

重点目標	長期経営目標	短期経営目標	主な取り組み <small>○付数字が具体項目</small>	評価指標 <small>下線部分が指標</small>	達成状況	自己評価	改善方策	学校関係者 講評	関係者評価
【学力の向上】	意欲的に 学ぶ子の育成	<p>(1)「Basic ガイドブック」を活用した授業づくりを進め「学力」を保障する。</p> <p>(2)中山間地域における特色ある学校づくりを励行し、多様な学習機会を確保しつつ、探究的な学習活動を実践する。</p> <p>(3)ICT を活用するとともに、ユニバーサルデザイン(UD)を意識した環境整備や授業づくりを行う。</p> <p>(4)読書活動の質と量の向上を目指す。</p>	<p>(1)学力向上の取り組み ①Basic ガイドブックの活用。特に、「めあて・まとめ・ふりかえり」活動を重点化。 ②家庭学習の意欲付け、家庭への啓発実施。 ③全国学力調査や県版学力調査の分析と、習熟の弱い箇所での復習の実施。</p> <p>(2)生活科・総合的な学習等の探究的授業づくり ①9年間のカリキュラムを作成・共有する。 ②探究的な学習となる授業づくり実践。 ③研究可視化の取り組み。研究通信発行・授業づくり関係の資料提示・研修等で、学年の取り組みを可視化し共通理解を図る。</p> <p>(3)ICT の活用と、授業へのUDの意識化 ①ICT 機器の授業活用。②校内研修の実施。 ③UDを意識した授業づくり。(板書や発話の認知心理学的側面への教員の意識向上。)</p> <p>(4)読書活動の充実 ①読書通帳や村立図書館からの貸出、利用呼び掛けを通して、読書冊数の向上を図る。</p>	<p>(1)Basic ガイドブックを用いた授業づくり ①「Basic」授業での重点項目実施率:90% ②「家庭学習をしている」肯定的評価:85% ③県版・埼玉県版等の学力調査で全国平均を目指す。(国語・算数共に-5p以内)</p> <p>(2)探究的な学習活動の実施 ①教師・児童が、「各学年の取組が分かる」という肯定的回答 90%以上 ②質問紙調査で、「主体的に学習活動に関わること」への肯定的評価:70%。児童の様子や記録から授業への肯定的評価:80% ③授業の板書等の記録紹介。研究便り発行。</p> <p>(3)ICT 機器の導入 ①ICT 機器をほぼ毎日活用:100% ②校内研修の月1回実施、若しくは校外研修の呼びかけ。</p> <p>(4)読書活動の充実 ①目標冊数の達成。低学年(100冊)、中学年(70冊)、高学年(45冊):それぞれ70%以上。また、読書アンケートの肯定的回答:85%</p>					
【心の教育】 (相手への配慮)	自分と友だちを 大切に する子の育成 居心地の良い 学校・学級づくり	<p>(1)道徳的な心情を育み、自他共に大切にする児童の育成を図る。</p> <p>(2)学校や学級への肯定的意識・充足感を高め、学級・学校で元気に活動できる場を保障する。</p> <p>(3)不登校の抑止・改善となる児童の状態・教育的ニーズに応じた支援の充実を図る。</p>	<p>(1)道徳教育の充実 ①「高知の道徳」を授業中や、家庭と連携して取り組む。「フレンズカード」の活用。</p> <p>(2)児童の自己有用感・自尊感情・他者への共感的理解を高める活動の計画 ①児童主体の活動(係活動等の特別活動)に取り組みキャリア教育の視点から活動を計画。 ②児童への肯定的・支持的な声かけの励行。</p> <p>(3)児童の状態像・ニーズの把握 ①長期休業中等に校内研修会の実施。 ②外部専門家(SC・SSW等)の支援会参加。 ③学級経営に関わる情報交換会の実施。</p>	<p>(1)道徳教育の充実 ①道徳アンケート「自分にはよいところがある」肯定的回答:75%</p> <p>(2)自己有用感・他者理解 ①②Q-Uアンケート「学校生活満足群」:60%以上</p> <p>(3)児童の状態像・ニーズの把握 ①年間1回以上の校内研修。 ②月1回以上の校内支援会の実施。 ③長期欠席児童:3人以内 新規不登校児童:ゼロ</p>					
【健康教育】 (食育・体力)	心身ともに 元気な子の育成	<p>(1)「睡眠・食事」等の基本的な生活習慣を確立する。</p> <p>(2)自ら進んで体を鍛える児童を育成する。</p>	<p>(1)基本的な生活習慣に関する指導 ①睡眠についての保健指導を継続し、早寝早起きへの意識付けを図る。 ②朝食の大切さの指導・啓発や、朝食を食べない児童を「生活カード」や「朝食アンケート」で把握し、個別に声かけを行う。 ③おいしい給食の提供と給食指導の充実。 ④家庭向け通信の発行。</p> <p>(2)体力向上に関する指導 ①体育授業での副読本の活用。 ②授業や朝の会等の業間での「こうちの子ども体力・運動能力向上プログラム」の活用。</p>	<p>(1)基本的な生活習慣に関する指導 ①生活調査から「早寝早起き」:60%以上 ②生活調査「朝食未摂取」:10%以下 ③④朝食アンケート「朝食をとることは大切である」:90%以上</p> <p>(2)体力向上に関する指導 ①体育授業での副読本の指導例や児童の振り返り欄等の活用:90%以上 ②体力テスト総合評価DE群の児童の割合:20%以下</p>					
【安全対策】 【危機管理】	災害から 身を守る子の育成 安全教育・安全管理が 充実した学校	<p>(1)児童が自分で自分の命を守ることができる安全教育を実施する。</p> <p>(2)安全指導、及び安全管理が定期的・組織的に行われている。</p>	<p>(1)防災教育の充実 ①「高知県安全教育プログラム」に基づく防災を中心とした授業を実施する。 ②校内避難訓練だけでなく校外の避難場所への避難の仕方を学ぶ。事前事後指導の充実。</p> <p>(2)防犯・交通事故やインターネット犯罪等への意識の向上 ①交通安全教室・登下校等の防犯指導実施。 ②校内安全点検の励行。</p>	<p>(1)防災教育の充実 ①②1年間で、防災学習を5時間以上、避難訓練を5回以上実施。(校内避難訓練含む。) ①②学校評価アンケート「避難の仕方について」肯定回答:80%以上</p> <p>(2)安全意識の向上(交通安全・防犯・SNS等) ①交通安全教室・登下校等の防犯指導の実施。 ②校内安全点検を学期に1回は実施。</p>					
【保幼小中連携】 【保護者・地域連携】	保幼小の円滑な接続 小中連携の推進 地域に学ぶ子の育成	<p>(1)就学前機関との円滑な接続を図る。</p> <p>(2)生活科・総合的な学習の時間を基調としつつ、芸西中学校や地域と連携した学習活動を実践する。</p>	<p>(1)合同学習会・園内研修等への相互参加</p> <p>(2)公開授業参加・文書の相互配布、行事への参加等による連携の推進</p> <p>(3)地域と関わった学習活動の計画。行事や活動での相互交流</p>	<p>(1)(2)(3)校種間交流・連携 ①②教員(園児・児童生徒)による活動・行事や研修での相互交流。研究通信・家庭向け文書の相互配布。 ③地域の人材バンクや特産品等を生かした小中9年間の系統的な指導計画の編成周知。</p>					